



石川県立輪島高等学校PTA

桐

第107号（令和7年3月3日発行）

〇〇挨拶



石川県立輪島高等学校長 平野 敏

『桐』発行にあたって

東日本大震災が起こった日は入学式が行われる少し前の日でした。新しいランドセルは手を通されることもなく津波に流されました。土砂の中からそんなランドセルを見つけたお母さんがいました。水道が来ていないので溜め水で懸命に洗いましたがきれいにはなりません。悲しみの新1年生たちには新しいランドセルが贈られ、入学式を迎えることができました。でもその子が入学式の翌日から6年間背負い続けたのはお母さんが洗ってくれた傷だらけのランドセルだったので。

能登半島地震が起こったあと、初めて高校に生徒が集まる日のことです。水道が来ていないので洗濯ができないことから私服登校を

認めました。ただひとり制服で登校した生徒がいました。聞くと、お母さんがその制服を持って逃げてくれたのだそうです。他にも大切なものはたくさんあったはずなのに、お母さんが真っ先に心配したのが娘の学校のことだったのです。その話を聞いて、生徒と保護者の学校に対する想いを実感し、学校の責任の重さをあらためて考えさせられました。

今日はその制服で卒業式ですね。おめでとうございます。

〇学び舎を巣立つ我が子へ

「強く生きる」

ご卒業おめでとうございます。とても困難な時期を乗り越え、見事に卒業できたことを心から称賛します。地震という大変な経験を経て、それでも前に進み続けたあなたの強さと勇氣には、言葉では表しきれないほどの感動を覚えます。

あの地震の後、メディアの取材であなたが書いた「強く生きる」という言葉。それは私たち家族に希望と勇氣を与えました。その言葉に支えられ、私もまた困難に立ち向かう力

をもらったのです。

この春からは親元を離れ、一人での新しい生活が始まります。同じ日から私たちもあなたのいない生活が始まります。これまでの18年間、一緒に過ごした時間の素晴らしさと、その短さに胸が締め付けられる思いです。

これからもその強さを持ち続け、夢に向かって歩んでいってください。未来には、きっと素晴らしいことが待っています。心から応援し続け、いつでもあなたを誇りに思っています。

新たなスタートを迎えるこの瞬間、希望と喜びに満ちた未来を心から祈っています。これからの道のりが光り輝くものでありますように。卒業、本当におめでとうございます。
(M・O)

「輝く未来へ羽ばたこう」

ご卒業おめでとうございます。令和6年度、石川県立輪島高等学校を無事に卒業される皆様の旅立ちの時です。これまでの努力と友情、



様々な経験が、皆さんを成長させてくれました。保護者として、子どもたちの頑張りを見守り、支えることができたことを誇りに思います。

これからの未来には、皆さんの可能性が広がっています。困難に直面することもあるでしょうが、震災と

水害を経験した皆さんは、必ず乗り越えられます。自分を信じ、挑戦を続けてください。そして、友人や家族と共に喜びや悩みを分かち合いながら、素晴らしい人生を築いていてほしいと思います。

皆さんの夢の実現を心から願っております。新しいステージでも、たくましく輝いてください。改めて、ご卒業おめでとうございます。あなたたちの未来が希望に満ちていますように。

(K・M)

「自信をもって自分の道を」

3年間あっという間でしたね。

地震に遭い、一時は家の都合で進学をやめよ



うかと言ったけど、そんなことはどうでもいい、自分の好きな道を進んでほしい！

大学へ行って楽しいことがたくさんあると思うけど、その分、大変なことも一緒だけあるよ。その時は、なぜこの学校に行きたかったかを思い出してがんばってほしい。



(M・F)

「前向いて頑張れ！」

入学式からもう3年の月日が過ぎました。この3年間、多くのことが起きました。特に最後の年の震災や水害などは決して忘れることのできないものだったと思います。また、中学校時から新型コロナウイルス感染症など、制約の多い学校生活だったと思います。しかし、大きな病気もせず、毎日元気に登校してくれたことは、私たち家族にとって大きな安心でした。

これまで、当たり前のように一緒に過ごしてきた家から出て、一人暮らしを始めますね。いつも見る顔がいなくなるのは正直さみしい気持ちです。また、新しい生活に対して不安

と期待でいっぱいだと思います。でも、自分で決めた夢を手に入れるために、頑張ってくれることを信じています。たくさんの人に愛され、大切にしてもらえよう、日々の生活を大切にしてほしいと思います。

いつも帰って来いとは言わないけど、たまに帰ってきて元気な姿を見せて安心させてください。

(H・F)



令和6年度PTA活動

- 4月 8日 令和6年度入学式
- 18日 第1回臨時役員会
- 24日 牛井炊き出し協力
- 26日 授業参観
- 5月 16日 第2回臨時役員会



6月

11日 県高P連年次総会

13日 令和5年度PTA会長への感謝

状贈呈式(本校)

第3回臨時役員会

25日 ※PTA総会(オンライン決議)



7月

5日 北信越地区高P連研究大会

(6日・長野県)

22日 教科書研究委員会

22日 保護者懇談会(24日)

30日 役員会(輪高祭について)

8月

22日 全国高P連大会

(茨城・23日)

9月

4日 輪高祭(飲み物・ケーキ等販売)



10月

18日 体育祭(日本航空高校石川)



11月

1日 いしかわ教育ウィーク学校公開

(7日)

2日 WAJI活発表会



13日 県高P連研究大会・指導者研究会

・功労者表彰

21日 県高P連功労者表彰

贈呈式(崖さん)



12月

10日 三者面談(13日・3学年)

23日 保護者懇談(25日・1、2学年)

3月

3日 第77回卒業式

桐107号発行

令和6年度PTA役員(敬称略)

会長 浅野 勝樹

副会長 加川 千春

新保 真智子

会計 宮下 葉月

三野 賀彦(輪島高校事務長)

監事 濱田 さやか

宮下 美子

輪高復活の軌跡

変わり果てた校舎



戻ってきた子どもたちの笑顔



7.9 前期球技大会



4.22 フレンチコース提供



4.8 入学式



多くの方々の温かい支えのおかげで、子どもたちに笑顔が戻ってきました



10.18 体育祭



12.20 牛丼炊き出し



9.3-4 輪高祭



6.19-22 修学旅行



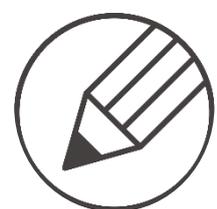
○編集後記

震災の影響が強く残る新学期、一年の活動方針もまともまらないまま本校PTAは始動しました。今年度は従来の委員会組織を廃止し、会員

全員が力を合わせてPTA活動に臨む「全員参加型のPTA」を目指しました。

1月の地震、更に、9月の水害など、自然の猛威をまざまざと感じ、子供たちも変わり果てた故郷の姿に戸惑いを感じ、将来に大きな不安を抱いていると思います。しかし、このような時だからこそ、家庭・学校・地域のつながりを改めて大切にして、子どもたちがこの苦境を乗り越え、生き生きと、そして逞しく暮らしていくために、私たち大人ができることを真剣に考え、導くことも大切なことではないでしょうか。

最後に保護者の皆さんにとって、子どもたちとの懸け橋となることのできる輪島高校PTA活動を目指したいと思います。今後ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



【発行】

石川県立輪島高等学校PTA

〒928・0001

石川県輪島市河井町18部42番地の2

